

# 大豆「里のほほえみ」の採種栽培を開始！

～大豆の安定生産のための新品種導入に向けて～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和4年9月2日発

東葛飾地域では、野田市を中心に大豆の生産が盛んに行われています。これまで早生品種では「タチナガハ」が栽培されていましたが、種子の確保が困難となったため、新たな早生品種に転換する必要性が生じました。そこで、機械での収穫適性に優れており、病害への抵抗性が高い「里のほほえみ」を令和5年度から導入することにしました。また併せて今年度から「里のほほえみ」の採種栽培を開始しました。

農業事務所では、栽培講習会や巡回を通して、採種ほにおける病害虫・雑草防除等のポイントを情報提供するとともに、8月23日には開花期審査を実施し、種子大豆が順調に生育していることを確認しました。

今後も農業事務所では、生産者が安定的に大豆を生産できるよう支援を行っていきます。



大豆「里のほほえみ」採種ほの  
開花期審査を実施しました



開花した「里のほほえみ」の様子